

経営工学教育における情報教育のガイドライン

【到達目標 1】

企業や組織体の活動に関し、システムの計画・設計・開発・運用・管理・改善に必要な情報通信の基礎知識・技術・倫理を理解し利用できる。

【到達度】

経営管理プロセスにおけるICTの役割を理解し利用できる。

経営資源の管理技術に対し、ICTによる実現方法を理解し利用できる。

経営システムに必要なICTと情報倫理の基礎知識を理解し利用できる。

【教育内容・教育方法】

とは、企業や組織体の協力を得て、ICTの活用事例を紹介した講義やフィールドスタディを実施する。

は、情報システムの設計・開発・運用・改善に関するデータ構造、プログラミング、データベース技術、情報ネットワーク、情報倫理等の基礎知識について、総合的な講義と演習を行う。

【到達度確認の測定手段】

～ は、テスト、レポート、成果物、プレゼンテーション及び教員・学生間のディスカッションなどにより確認する。

【到達目標 2】

企業や組織体の活動に関し、課題の発見・構造化・解決のためにICTを活用できる。

【到達度】

モデリングに必要なデータ収集や整理・分析に統計処理や表計算などのソフトウェアの活用ができる。

モデリング及び数値実験やシミュレーションを行うためにプログラミングやソフトウェアの活用ができる。

と の結果を、妥当性、合理性、信頼性などの観点から検証・評価できる。

【教育内容・教育方法】

～ は、データ解析、データマイニング、市場調査、アルゴリズム、オペレーションズ・リサーチ、統計解析などの科目と連動した講義や企業や組織体のケーススタディを用いた演習を行う。

【到達度確認の測定手段】

～ は、テスト、レポート、成果物、プレゼンテーション及び教員・学生間のディスカッションなどにより確認する。